

介護ステーション ぶらんち ニュースレター

Vol. **84**

令和5年12月号

来年2024年7月にお札が新しくなります…

ここ最近、裏金疑惑やら、地球温暖化の影響で秋らしさを感じる期間が短くなったりとか、あまりHAPPYとは言えないことばかり…

ところが、私にとっては、ちょっぴり嬉しいニュースがありました。

2024年7月、お札が新しくなりますが、5千円札にあの津田梅子氏が選ばれました。私事ですが、私の母校の創設者なんです。

津田梅子氏は、政府が欧米に派遣した「岩倉使節団」に加わった最初の女性留学生。

1900年に、私立の女子高等教育機関としては日本で初めての「女子英字塾(現津田塾大学)を設立しました。

女性の地位向上や女性の個性を尊重した教育に努めたことから、まさに令和の時代の紙幣にふさわしい人物ではないでしょうか。

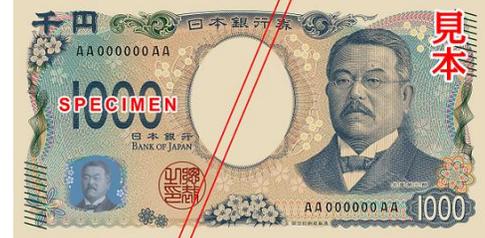
他、新1万円札には「渋沢栄一」氏

新千円札には「北里柴三郎」氏

何だか、NHKの朝ドラの主人公になった方々ばかり…

やはり、魅力ある方々なのでしょう。

師走。皆様、お身体には充分気をつけた、2023年を走り切りましょう。



介護業界を盛り上げよう！！

先月の続き…。

介護業界の離職の要因の3Kのうち、弊社の離職の原因「NO1 きつい」について先月、訪問介護事業の売上のためには、一人当たりの訪問件数が5～6件は必須、とお話しました。

それを解消するには、人財を獲得するだけが策ではない。

では、何が必要なのか。

私が考えるに、

1:訪問エリアの区分けを地域で、区で、市で、実施する

2:土日祝日の報酬単価を通常単価の上げる

3:医療系の事業所がお休みで代わりに

対応した場合、医療系同様の単価にする

凄く、大きなことを言えば、エリアごとで事業所の売上をデータ化して、人件費との兼ね合いで最低でも売上高を見張って、エリアでその数字を守っていく、というシステムがあると、

事業所が安心して、自分の会社の人財育成に時間を費やす心の余裕が出来るのでは。と考えています。

在宅の訪問介護は事業所が小規模だからこそその良さがあると思うので。

ぶらんちの今を紹介

皆さん、弊社に「トータル ビューティーサロン BRANCH」があること、ご存じですか。オープン後、いろいろあり、なかなか進んでいなかったのですが、2024年1月より、活動が活性化します！

まずは、足のケア、爪のケア。利用者様の中で、歩くことが出来にくくなった、急に歩けなくなった、と仰られる方の多くが、爪トラブル、なんです。

訪問する私たちが靴下を履かれているので、気づきにくい、ということもあります。

巻き爪で、爪が足指の肉に引っ掛かって、立つと、体重で、ささったかのような痛みを覚え立てない！となったり、歩きだしたら、爪が肉に引っ掛かり、痛みを覚え歩きたくない！となったり…

出来れば、いつまでも、自分の足で歩きたいその願いを叶えるには、足元から…料金表などは、後日。お知らせします